

令和4年度事業報告書

特定非営利活動法人 ペットライフネット

I 事業期間

令和4年1月1日～令和4年12月31日

II 事業の成果

①「わんにゃお信託®」

令和4年2月に「わんにゃお遺言」の契約者様がお亡くなりになり、5月2日に遺された猫（まあちゃん）を引き取った。また、「わんにゃお定期」の契約者様の病状が進行し、猫（てんちゃん）の世話ができなくなったとの依頼を受け、5月11日に猫を引き取る。この方も6月に亡くなられた。

事務局の方で2匹の猫の世話をしていたが、8月にてんちゃんの「里親様」が見つかる。まあちゃんについては、高齢でしかも人馴れができていないため事務局で飼養している。

てんちゃんの飼主様は自筆証書遺言を遺されていたので、家庭裁判所で検認をもらい、終生飼養料の遺贈を受ける。

令和4年度の「わんにゃお信託®」の新しい契約者は、1名だった。

②「ペットとわたしのエンディングノート」

平成30年に発刊した「ペットを愛する方のためのエンディングノート ペットの終活×人の終活」の冊子の在庫が少なくなったため刷新を考えていたところ、株式会社清文社が出版と販売を請け負ってくれることになり、大幅に改定することになった。

6月から編集作業をスタートし、12月末に校正を終了。令和5年3月初旬に印刷・製本になる予定となった。

③「わんにゃお通信」

新型コロナウイルス感染症の感染終息を見通すことができず、今年もセミナー等のイベントはほとんど計画ができない状況となった。

一昨年に創刊した情報誌「わんにゃお通信」の継続発刊が主要事業となった。

「わんにゃお通信」は、A3版表裏、カラー、年3回（春・夏・秋）発刊、2,000部印刷、300か所（会員をはじめ、動物病院、愛護団体、動物取扱業など）へ配布。秋号については、全国の動物愛護管理センターへも送付した。

ネット情報にあまり接することのない高齢者にとって、コロナ禍で提供される「わんにゃお通信」は貴重な媒体なのだろう。お礼の葉書が寄せられている。

④マスコミ取材

令和4年3月20日（日）の朝日新聞「なるほどマネー」で「わんにゃお信託®」の事業内容が詳細に紹介された。

⑤安満人倶楽部への参画

高槻市安満遺跡公園の安満人倶楽部（あまんどくらぶ）ペットグループが開催する譲渡会、3月10日と10月10日の春・秋に参画。ブースを出し、「もしもの時のペット相談」を受け付けた。高齢者のひとり暮らしの方から、ペットを遺してしまうのではないかといった切実な相談もあり、充実した機会となった。

IV 社員総会の開催状況

第8回通常総会

(日 時) 令和4年3月2日(水) 午前10時から11時まで

(場 所) ZOOMミーティング

(社員総数) 10名

(出席者数) 9名(うち委任状出席者4名)

(内 容) 第1号議案 第七期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)
事業報告

第2号議案 第七期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)
会計報告

議長は、第七期事業報告及び会計報告について概要を説明し、監事に監査報告を求めたところ、監事から監査報告書に記載したとおりで特段新たに指摘すべき事項はない旨報告があった。

次いで、議長はその賛否を議場に諮ったところ、満場一致で異議なく可決した。

第3号議案 第八期(2022年1月1日から2022年12月31日まで)
事業計画

第4号議案 第八期(2022年1月1日から2022年12月31日まで)
予算書案

議長は、第6期事業計画書、活動予算書について概要を説明した。

議長はその賛否を議場に諮ったところ、満場一致で異議なく可決した。

ただし、ペットライフネットの持続性について白熱した議論が交わされ、

今後の課題として継続審議する旨、了承された。

議長は、以上をもって当法人の総会に関するすべての議事を終了した

旨を述べ、午前11時00分閉会を宣した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、理事会等役員会を開催することは残念した。

ただし、「わんにゃお通信」の企画内容等、事業展開については、「PLN旬報」を定期的にメールで送付。

情報共有を推進するとともに、個々の会員とのコミュニケーションを綿密に行い、事業活動に支障がでないように計らった。

以上